

平成27年度決算の概要

目次

◆ 平成27年度決算のポイント	1
◆ 平成27年度損益計算書	2
◆ 平成27年度貸借対照表	3
◆ 通行台数・料金収入・供用延長の推移	4
◆ 計画値との対比	5
◆ 平成27年度キャッシュフロー計算書	6
◆ 参考:会計処理の特徴	7
◆ 参考:償還準備金積立方式の仕組み	8



平成27年度決算のポイント

- ①**収益**は、平成26年度決算に比べ880百万円増加し、11,664百万円となりました。
収益のうち約94%を占める**道路料金収入**は、706百万円増加し、10,954百万円となりました。道路料金収入の増加要因は、通行台数の増加及び1台当たりの走行距離の伸び等によるものです。
- ②**費用**は、182百万円増加し、6,053百万円となりました。
費用の内訳は、料金收受委託費や消費税等の事業資産管理費が3,089百万円、一般管理費が405百万円、利息等が2,007百万円です。
費用の約51%を占める**事業資産管理費**は、料金収入の増加に伴う消費税及び通行台数の増加による料金收受手数料等の増加により59百万円増加しております。
- ③当年度における**引当金等繰入(利益)**は、699百万円増加し、5,612百万円となり、年度末時点の**特別法上の引当金の残高**は、49,020百万円となりました。



平成27年度損益計算書

(百万円)

費用の部				
科目	金額			増減率 (%)
	平成27 事業年度	平成26 事業年度	差額	
事業資産管理費	3,089	3,030	59	1.9
道路管理費	3,011	2,963	48	1.6
ETCマイレージ還元負担金等	78	67	11	16.4
一般管理費	405	389	16	4.1
一般管理費	251	250	1	0.4
減価償却費等	154	140	14	10.0
業務外費用	2,007	2,104	△97	△4.6
借入金利息	1,975	2,069	△94	△4.5
債券発行費償却等	32	35	△3	△8.6
受託業務費	552	348	204	58.6
小計	6,053	5,871	182	3.1
引当金等繰入	5,612	4,913	699	14.2
償還準備金繰入	5,566	4,904	662	13.5
償還準備積立金繰入	46	9	37	411.1
合計	11,664	10,784	880	8.2

収益の部				
科目	金額			増減率 (%)
	平成27 事業年度	平成26 事業年度	差額	
業務収入	11,063	10,372	691	6.7
道路料金収入	10,954	10,248	706	6.9
ETCマイレージ還元負担金収入	42	30	12	40.0
業務雑収入	67	94	△27	△28.7
業務外収益	49	64	△15	△23.4
受託業務収入	552	348	204	58.6
合計	11,664	10,784	880	8.2

※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。



平成27年度貸借対照表

(百万円)

勘定科目	資産			増減率 (%)
	平成27 事業年度	平成26 事業年度	金額 差額	
流動資産	5,403	4,305	1,098	25.5
現金・預金外	5,403	4,305	1,098	25.5
固定資産	369,456	367,540	1,916	0.5
事業資産	304,279	304,279	0	0
道路建設仮勘定	63,966	61,892	2,074	3.4
有形固定資産外	1,211	1,369	△158	△11.5
繰延資産	213	228	△15	△6.6
借入金取扱諸費外	213	228	△15	△6.6
資産合計	375,072	372,073	2,999	0.8

勘定科目	負債及び資本			増減率 (%)
	平成27 事業年度	平成26 事業年度	金額 差額	
流動負債	18,324	17,546	778	4.4
短期借入金外	18,324	17,546	778	4.4
固定負債	228,139	232,030	△3,891	△1.7
広島高速道路債券	94,998	84,998	10,000	11.8
地方公共団体借入金	61,183	67,123	△5,940	△8.8
政府借入金	61,968	69,054	△7,086	△10.3
市中銀行等借入金等	9,839	10,729	△890	△8.3
退職給与引当金	122	98	24	24.5
ETCマイレージ引当金	29	28	1	3.6
特別法上の引当金等	49,020	43,408	5,612	12.9
償還準備金	37,364	31,799	5,565	17.5
償還準備積立金	11,655	11,609	46	0.4
(負債合計)	295,483	292,984	2,499	0.9
基本金	79,455	78,955	500	0.6
地方公共団体出資金	79,455	78,955	500	0.6
剰余金	134	134	0	0
(資本合計)	79,589	79,089	500	0.6
負債・資本合計	375,072	372,073	2,999	0.8

※ 係数毎に端数処理しているため、計において合致しないことがあります。
 ※ 増減率は端数処理後の値で算出しています。

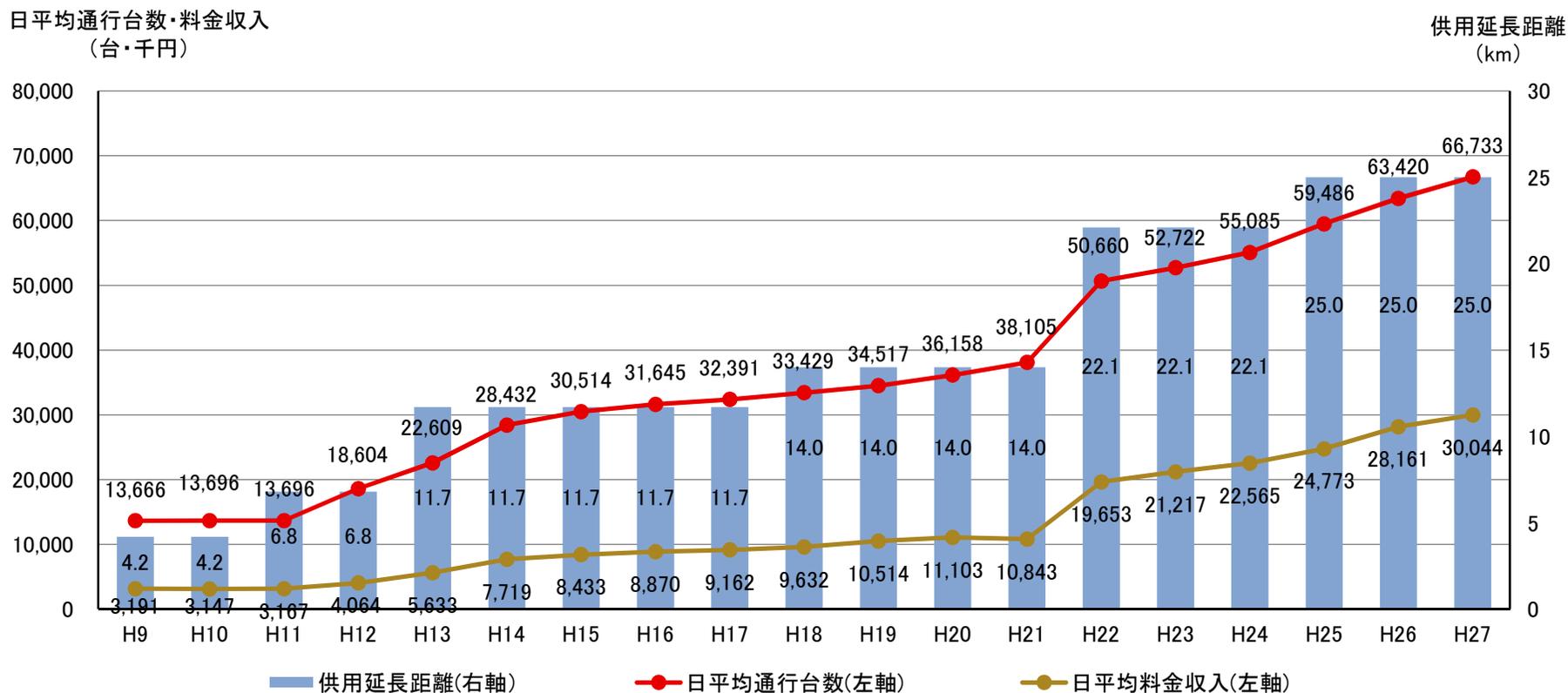


通行台数・料金収入・供用延長の推移

平成27年度

日平均通行台数 66,733台(5.2%増)、日平均料金収入 30,044千円(6.7%増)

- 平成22年4月に広島高速2号線及び3号線Ⅱ期、平成26年3月に広島高速3号線Ⅲ期と、相次ぐ新規路線の供用開始後、通行台数・料金収入ともに増加。



計画値との対比

【平成27年度】

単位：百万円

区 分		収 益	費 用				営業係数 (B/A*100)
		料金収入等 (A)	管理費	借入利息等	計 (B)	償還準備金繰入 (A-B)	
平成27年度	計画	13,650	3,551	2,049	5,600	8,050	41
	実績	11,067	3,494	2,007	5,501	5,566	50
累 計	計画	93,824	30,849	21,397	52,246	41,578	56
	実績	88,722	30,056	21,301	51,357	37,364	58
計 画 に 対 す る 実 績 の 比 率		94.6	97.4	99.6	98.3	89.9	—

(注) 計画は、料金認可(平成26年3月国土交通大臣認可)資料を参考に算出した数値である。

○管理費は、事業資産管理費、一般管理費の合計です。

○営業係数は、100円の収益を得るために必要な費用を意味し、低いほど良い係数です。
平成27年度は、昨年度から3ポイント改善しました。



平成27年度 キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	H 2 7 事業年度	H 2 6 事業年度	増減額
	A	B	A - B
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
償還準備金繰入等	5,612	4,913	699
減価償却費	130	129	1
退職給与引当金繰入	24	10	14
E T Cマイレージ引当金繰入	1	6	▲ 5
債券発行費等償却額	21	20	1
受取利息	▲ 1	▲ 2	1
債券支払利息	845	811	34
借入金支払利息	1,130	1,258	▲ 128
未収金等増減額	▲ 45	▲ 53	8
棚卸資産増減額	▲ 13	▲ 13	0
未払金増減額	▲ 513	336	▲ 849
小 計	7,191	7,415	▲ 224
受取利息	1	2	▲ 1
債券支払利息	▲ 845	▲ 811	▲ 34
借入金支払利息	▲ 1,130	▲ 1,258	128
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,217	5,348	▲ 131
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
事業資産の取得による支出	0	0	0
事業資産の売却による収入	0	0	0
建設仮勘定の取得による支出	▲ 1,744	▲ 3,464	1,720
固定資産の取得による支出	▲ 34	▲ 422	388
固定資産の売却による収入	0	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,778	▲ 3,886	2,108
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入による収入	0	0	0
短期借入の返済による支出	0	0	0
長期借入による収入	2,425	2,902	▲ 477
長期借入の返済による支出	▲ 15,398	▲ 15,357	▲ 41
債券の発行による収入	10,000	9,000	1,000
債券の償還による支出	0	0	0
出資金の受入による収入	500	465	35
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 2,473	▲ 2,990	517
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0	0
V 現金及び現金同等物の増加額	966	▲ 1,528	2,494
VI 現金及び現金同等物期首残高	2,573	4,101	▲ 1,528
VII 現金及び現金同等物期末残高	3,539	2,573	966

参考: 会計処理の特徴

原則

- 当会社では、財政状態や経営成績を明らかにするため、企業会計原則に準じた会計処理(発生主義・複式簿記)を行っています。

例外

- 道路資産については、借入金で道路を建設し、料金収入等で投資した額を償還し、償還完了後は本来の道路管理者へ引き渡すという有料道路事業の特徴から、借入金の償還状況をより明確に把握できる償還準備金積立方式をとっており、企業会計において一般的に採用されている減価償却方式はとっておりません。

特徴

- 借入金の償還に充てられる年度の「収支差」を「償還準備金繰入」として費用に計上し、その累計額を「償還準備金」として負債の部に計上する償還準備金積立方式を採用しています。
- 貸借対照表上で、道路への投下資金総額(借入金総額)である「道路資産」と借入金の償還に充てた「償還準備金」とを対比することで、一目で借入金の償還状況がわかる仕組みになっています。



参考：償還準備金積立方式の仕組み

